

ご自由にお持ち帰りください



公益財団法人 宮城厚生協会

# 坂総合病院

## NEWSaka

2017.2  
No.16

発行責任者：坂総合病院院長 内藤 孝



松島四大観多聞山より塩釜湾を眺望

- 1 写真（松島四大観多聞山より塩釜湾を眺望）
- 2 医療安全の取り組み紹介
- 3 脳ドック検診の取り組みおよびご案内
- 4 職場紹介（9階病棟）、シリーズ8回目リハビリ室のお仕事
- 5 新赴任医師紹介（総合診療科医師）  
食養室管理栄養士から（9回目）
- 6 1月全体職員学習会（2つの講演）
- 7 2月外来診療案内
- 8 インフォメーションほか

### 病院理念

わたしたちは、患者さまの権利を尊重し、  
**共感・協同・平等・安全の**  
医療をめざします。





安全アピール、3ワード



106句集まった安全川柳



報告する千葉佳子看護師

## 坂総合病院医療安全の 取り組み紹介(医療安全推進週間へ参加)

医療安全対策室安全管理者 千葉 佳子

### 「患者の安全を守るための共同行動」

医療安全推進週間は、平成13年に開始された「患者の安全を守るための共同行動」の一環として、医療機関や医療関係団体等における取り組みの推進を図り、また、これらの取り組みについて国民の理解や認識を深めていただくことを目的として厚生労働省が設けたものです。この期間を中心に各医療機関で、医療安全向上のため、医療安全について、もっと身近に感じてもらうために、医療安全アピールとしていろいろな取り組みを実施しています。

### 「患者さんと医療者が共に守る医療安全」というテーマで実施

当院は、2016年11月22日～11月30日まで「患者さんと医療者が共に守る医療安全」というテーマで、今年で3回目の医療安全推進週間への参加になりました。

医療安全アピールとして、看護部安全推進委員と技術部安全推進委員で「患者誤認防止のためにお名前を確認しています」と書いたティッシュを配布し、2日間で約500名の患者さまやご家族へ協力を呼びかけました。一般の方向けに「AEDで助かる命」というテーマでAEDの講習会を坂総合病院と坂総合クリニック1号館の1階フロアで開催しました。

展示として、医療安全の基本的な考え方、転倒転落防止の取り組み、職員からの安全川柳は106句集まり、最優秀賞は検査部門の『思い込み、たぶん! だろう!』

は無責任』でした。

### 「医療安全に大切な3つの言葉」を各職場から募集

2015年から3ワード「医療安全に大切な3つの言葉」を各職場から募集し、23職場が参加し日常から大切にしている「37の言葉」が集まりました。笑顔・チームワーク・思いやり・指さし呼称・確認・声だし、声かけ・コミュニケーションなどの言葉が複数の職場から出され、ほとんどの職場で、医療安全には、情報の共有やノンテクニカルスキルが重要だと考え医療安全推進に取り組んでいることがわかりました。

これらの展示に足を止めて見てくださる患者さまやご家族も多数いらっしゃり、今後も継続して医療安全推進週間に参加していきたいと思っております。ご協力いただいた皆さま、本当にありがとうございました。



医療安全川柳最優秀賞の丸勢共子検査技師(左端)と祝う検体検査室スタッフ

# 脳ドック・脳検診の 取り組みおよびご案内

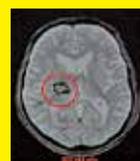
臨床放射線技師 本田 浩喜



脳血管疾患は死亡原因の上位に入ることや、言語や身体麻痺などの障害が起こることが知られています。このような脳血管疾患は、ある日突然やってきて本人や家族が大きな困難を迎えることとなります。

坂総合病院では、いつ発症するか分からない脳血管疾患を早期に発見し未然に防ぐために脳ドック・脳検診の実施をおすすめしています。脳ドック・脳検診では脳MRI、脳血管MRA・頸部血管MRAの検査を行います。

脳MRIでわかるものは脳梗塞、脳出血、脳腫瘍、脳の加齢性変化や脳の萎縮の程度などです。脳梗塞や脳出血は新しいもの以外に、過去に起きた症状の出していない脳梗塞や脳出血なども見つかります。(症状の出していない脳梗塞や脳出血は、今後より大きな脳梗塞や脳出血を起こす可能性があります。)



脳血管MRAでわかることは脳動脈瘤、脳血管の狭窄や閉塞、脳血管奇形などで、頸部血管MRAでわかることは頸部血管の狭窄や閉塞などです。脳動脈瘤はくも膜下出血を引き起こす可能性があるため、発見された場合は専門外来への受診をおすすめしています。血管の狭窄や閉塞は、将来脳梗塞を発症する可能性があります。

脳ドックは上記検査以外にも頸部血管エコー、身体・血圧測定、血液検査、尿検査、心電図検査、胸部レントゲン検査を実施し、動脈硬化の有無や全身の状態を評価します。



当院で実施している、脳ドック・脳検診以外にも塩釜・多賀城・利府・松島の各自治体から助成される自治体脳検診も受け付けておりますので、脳ドック・脳検診、自治体脳検診のお申し込みやお問い合わせは、坂総合病院の健康管理室までご連絡ください。

**坂総合病院健康管理室 tel. (直通) 022-367-9053**

※坂総合病院の脳ドック検査は日本脳ドック学会ガイドライン2014に準拠しています。





9階病棟スタッフのみなさん

呼吸器科内科病棟の9階病棟です。渡辺洋呼吸器科科長をはじめ医師、看護師、看護助手、クラーク、病棟担当事務でみなさんをお迎えしております。この他にも呼吸器に関わる疾患の患者様への必要な治療サポートとしてリハビリスタッフ、薬剤師、栄養士や福祉面ではMSWなども大活躍する病棟です。このように様々な職種がそれぞれの特性を活かし、他職種と連携し患者・ご家族様を中心としたチーム医療を行なっています。その日の担当看護師は朝の

申し送り時に患者様に挨拶させていただいておりますので、些細なことでもぜひお声掛けください。

9階病棟では主に呼吸器疾患の治療・検査を目的として入院される方がほとんどです。呼吸活動の不調和は日常生活に影響しますので、治療と並行して退院後の生活も見据え、楽な呼吸方法や食事方法などの生活指導も行なっています。医療・福祉サービスの調整も同様です。日常生活で呼吸苦などを感じていらっしゃる患者様を対

象に14日間の呼吸リハビリテーションも行なっています。このリハビリを機会に禁煙される方もおり、患者様と一緒に喜びを共有させていただいております。

病院とともに地域に暮らす患者様の治療だけでなく、退院後にその人らしさを取り戻せるように、また長く地域で生活できるように、入院中から多角的にサポートし続けたいと思います。



佐々木伸也医師と心臓リハビリスタッフ

間欠性跛行とは、歩いていると神経の圧迫もしくは血流が悪くなり痛み、しびれが強くなる症状をいいます。間欠性跛行の原因に下肢閉塞性動脈硬化症 (ASO) による下肢虚血 (PAD) があります。

私たち心臓リハビリテーションチームのスタッフは、循環器科医師による下肢血管のカテーテル治療の前後で、間欠性跛行 (痛み・しびれの程度・出現距離など) の検査を行なっています。医師は様々な検査により下肢血流がどのくらい良くなったかを判断します。

下肢虚血 (PAD) は治療でよくなる方が多いです

シリーズ

さまざまなリハビリテーション

第8回 下肢虚血治療における  
間欠性跛行評価に関わって

心臓リハビリテーションチーム  
理学療法士 斎藤 伸

が、再発する方も多いです。重症になると足に壊疽をおこし、最悪の場合、切断にいたる恐ろしい病気です。こうした血管の病気には食事や喫煙、運動不足などの生活習慣が大きく関わっています。自分の生活を見直し、症状がある場合にはすぐに医療機関に相談してくださいね!



間欠性跛行の評価風景



## 新 赴 任 医 師 の ご 紹 介



櫻井 広子 医師  
さくらい ひろこ

よろしくお願いたします。

出身大学 秋田大学医学部  
2013年(平成25年)卒  
出身地 神奈川県小田原市  
専門資格等 内科認定医

## 坂総合病院食養室 管理栄養士から

管理栄養士 鈴木 亜紀

### 第九回

## 『よく噛むことによる効果』



「よくかんで食べなさい」ということは昔からいわれてきたことですが、よくかんで食べると消化がよくなるだけでなく、具体的にどういった効果があるのかについて考えてみましょう。

### 1 脳の働きがよくなる

食べ物をよく噛んで食べると、あごや口の筋肉がよく運動します。その運動が、頭（脳）の血液の流れを良くしたり、脳の神経を刺激するので、脳の働きを良くしてくれます。また、噛む回数を増やすには、やわらかい食べ物ばかりではなく、歯ごたえのあるものを食べるようにすることが大切です。

### 2 むし歯の予防

噛む回数が多いと、歯を支えている土台（歯ぐきなど）が丈夫になり、むし歯の原因となる細菌侵入を防ぎます。そして「噛む」ことは、唾液分泌もよくします。唾液には口の中をきれいにすることから、むし歯予防効果があります。また、食物繊維を多く含む野菜などを食べると、歯に付着した食べかすを取り除き、これもむし歯の予防につながります。

### 3 肥満の予防

よく噛んで食べると、消化・吸収がゆっくり進行し、血糖値の上昇スピードもゆるやかで、体脂肪の増加が抑えられます。一方、よく噛んで食べるとエネルギーの代謝が亢進し、食後のエネルギー消費量も増えるので太りにくくなります。また、食事を始めて20～30分程度経つと、脳の満腹中枢が作用して食欲を抑えるので、食べ過ぎを防ぐ効果もあります。



歯ごたえのある食べ物で  
脳やえる

食物繊維を食べながらの  
歯みがき作用

ゆっくりと味わうことで  
太らない

1月19日(木)の学習時間にセミナー室で2つの講演会が開催されました。



その1

◇テーマ：「ギャンブル依存症の有病率が5倍高い国にカジノ!？」

◇講師：千葉 茂雄 医師（精神科科長）

テーマ設定の背景

はじめに、テーマ設定の背景を述べました。厚生省の2014年度報告によれば、日本人のギャンブル依存症は4.8%と推定され、20人に一人の割合で、男性は若年で、女性は中高年で発症が多いことが報告されました。

そして、「IR=カジノ推進法」が昨年12月に可決されたことに関連し、カジノは120カ国で合法になっていること、成立の数年後にIR=カジノ含む総合リゾート施設のオープンが予定され、多くの自治体が誘致を希望していることなど述べました。

ギャンブル（依存症）とは？その実態は？

今回の学習会の獲得目標としては、ギャンブル依存症にならないように、また、カジノを契機にギャンブルについて考えてほしいとして、以下の内容が報告されました。

「ギャンブル=賭博とは？」の説明をして、金品を賭けて勝負を争う遊戯で、日本では違法なこと、「ギャンブル依存症とは？」ギャンブルへの強い欲求、費やすお金と時間が次第に増えていく、一度止めてもまたのめりこんでしまう、アルコール依存症な

どと同様の脳内変化が認められる結果になること、「ギャンブル依存症がもたらすものは？」家庭内の不和やDV、離婚、借金、自己破産、横領、窃盗、強盗、殺人…であり、借金の肩代わりは無効！

「日本の有病率が高いのは何故か？」遺伝または体質？環境として遊戯施設パチンコ店などの存在の多さ（しかしパチンコはギャンブルではない？「風俗営業」に分類され警察庁が管轄している）を指摘し、「パチンコの変遷」が説明されました。1930年に「一銭パチンコ」として登場し、90年以降から依存症が社会問題化し、現在は年間掛金総額24.5兆円で粗利益4兆円弱であること、公営賭博（競馬、競艇、競輪など等）の振興と規制が同一省庁であることの説明がされました。

はまり込まないように！

諸外国の経験や取り組みから学び、ギャンブルの仕組みの教育が大事であると述べ、改めてギャンブルについて考えるとして、カジノの儲けの主なターゲットは小口顧客であり、ギャンブル依存症がいてこそIRは成り立ち、IR収益の8割はカジノからであり、『これらの事を一緒に考え、はまり込まないように！注意していきましょう。』と結びました。



その2

◇テーマ：「家庭医総合診療及び内地留学等報告」

◇講師：本郷 舞依 医師（総合診療科医長）

バランスよく診ることが大切

2008年から坂病院で初期研修し、臓器・疾患に拘らずその人をまるごと診るという方向で、2010年に家庭医総合診療の後期研修に入ったことが報告され、地域住民の医療ニーズとして扱う疾患の広さ・多様性・バランスよく診ることの大切さが強調されました。

米国国立科学アカデミーによるプライマリ・ケアの定義「ACCCA（近接性、責任性、継続性、協調性、包括性）」の説明もされました。

そして、家庭医療専門医取得（2013年）後、家庭医療実践の場として、夫の佐々木隆徳医師と

家族単位で内地留学し、北九州の町上津役診療所（8ヶ月）、福井大学病院での救急・総合診療部（1年）、そしてカナダのトロント大学（5日間×2回）での施設や研修内容の紹介、学んだことの概要が報告されました。

今後の野望は？夢は？

今後の野望？としては、家庭医療・総合診療分野の発展、仲間増やし（後輩育成、研修医教育）、生涯教育など上げられました。2012年に設立した「みちのく総合医学センター」の目的などの概要紹介もありました。質問で、『夢は』と聞かれ、『治療で路頭に迷う人がいなくなるように、一緒に診ている医師が沢山いればいいです。』と答えました。

# 外 来 診 療 案 内

2017年2月

## 坂総合病院（本院）

各科外来診療日・時間

科	診療	月	火	水	木	金	土	備考
脳神経外科	午前	○				○		
	午後					○		
神経内科	午後	○						
消化器科	午前	○	○	○	○	○		
リハビリテーション科	午前		○	○	○	○		
	午後	○						
末梢血管外来	午前	○	○					
甲状腺外来	午後		○診療日隔週					

●医師体制の都合により変更する場合があります。ご了承願います。

総合病院 院長 内藤 孝 電話 022-365-5175(代)

## 坂総合クリニック1号館

各科外来診療日・時間

科	診療	月	火	水	木	金	土	備考
外科	午前	○	○	○	○	○		
腎臓内科	午前			○				
整形外科	午前	○	○	○				
	午後	○		○				
泌尿器科	午前	○	○		○	○		○診療日隔週
形成外科	午前	○		○				○診療日隔週
	午後		○			○		
耳鼻咽喉科	午後	受付13:00～16:00		受付13:00～16:00			受付8:30～11:30	
産婦人科	午前	妊婦健診～11:30迄 ○11:30迄	妊婦健診～11:30迄 ○11:30迄	妊婦健診 ○11:30迄	妊婦健診 ○	妊婦健診～11:30迄 ○	○	
	午後	○ 妊婦健診				妊婦健診		
精神神経科	午前	○	○	○	○	○		○診療日2/18予定
	午後			○		○		
眼科※1	午前	○11時迄	○	○		○		○診療日隔週
	午後		○診療日隔週	○	○			
皮膚科※2	午前		○			○		○診療日隔週
	午後		○14:30～16:00			○14:30～16:00		
血液科	午後		○			○		
禁煙外来	午後			○診療日隔週				

＜各科外来受付時間＞

●午前  
新患8:30～11:30  
再来8:30～11:30

●午後  
予約制となっています

※1 眼科の診療は医師体制上の都合により、予約以外の診察をお受け出来ない場合があります。ご了承願います。

※2 皮膚科の診療は医師体制上の都合により、予約外の方は緊急性のある方以外はお受けできません。ご了承願います。

## 坂総合クリニック2号館

※内科一般外来は午前からのみの診療となります（午後は休診となります）。

各科外来診療日・時間

科	診療	月	火	水	木	金	土	備考
内科	午前	○	○	○	○	○	○	
	午後							
糖尿病代謝科	午前	○	○	○	○	○		○診療日隔週
	午後	○	○		夜間外来			
循環器科	午前	○	○	○	○			○月1回
	午後		○		夜間外来(高血圧)	ペースメーカー外来 診療日隔週		
呼吸器科	午前	○		○		○		○月1回
	午後	○	○	○		○		
緩和ケア科	午前				○			
漢方科	午前	○	△	△		○		○月2回
	午後	○	△	△	△夜間外来	○		
高脂血症外来	午前			○				
心臓血管外科	午後			○		○		
小児科	午前	○	○	○	○	○	○	
	午後	予防接種 受付13:30～14:30		育児検診				

●当院の外来は全面予約制ですので、来院前にお電話下さい。漢方は診療変更が多い日を△にしています。

電話番号：予約コールセンター 022-361-8288

電話予約受付時間：平日8:30（小児科のみ8:00から開始）～16:30、土曜日8:30（小児科のみ8:00から開始）～11:30

●医師体制の都合により変更する場合があります。ご了承願います。

坂総合クリニック 所長 小幡 篤 電話 022-361-7011(代)

お知らせ

# 坂総合病院 市民公開講座

主催：(公財)宮城厚生協会坂総合病院

2017

**2/25** sat 日

14:30 ~ (開場14:10)

多賀城市文化センター  
2階展示室



お問い合わせ 坂総合病院地域連携室 TEL 022-365-5175(代)

内容

講演Ⅰ

「肺がんの最新の治療について」

坂総合病院呼吸器科科長 **渡辺 洋**先生

講演Ⅱ

「アイバンクの役割について」

東北大学医学部眼科学講座講師 **横倉 俊二**先生

講演Ⅲ

「緑内障から自分を守るために  
知っておくべきこと」

東北大学医学部眼科学講座教授 **中澤 徹**先生

\*がん死亡者数部位別1位の「肺」に関する最新の治療、40歳以上の20人に1人の割合で罹る「緑内障」について専門医師から講演です。

定員  
150名

参加費  
無料  
ご予約不要

## 地域医療連携センターから

### ○紹介の状況

	紹介数	逆紹介数
2016年9月	660	762
10月	675	833
11月	717	832
12月	577	1371

(坂総合病院、クリニックの合計数です)

○ご紹介の際は、地域医療連携センターまでご連絡下さい。  
※坂総合病院・坂総合クリニックは予約診療を行なっています。

お気軽に地域医療連携センターまでお問い合わせ下さい。  
尚、緊急性の高い症状の場合や入院加療も含めての診療  
ご依頼の場合は、お電話にてその旨をお知らせ下さい。

### 《開設時間》

●平日 / 8時30分～17時 ●土曜日 / 8時30分～12時30分

**TEL 022-361-4700**

※時間外休日は、救急処置室に繋がります。

## コールセンターから

○診療の予約・変更・お問い合わせは、コールセンターで承ります。

**TEL 022-361-8288**

平日(月～金)：8時30分～16時30分

(小児科のみ8時から開始)

土曜日：8時30分～11時30分

(小児科のみ8時から開始)

※紹介状をお持ちの方は必ずその旨をお伝え下さい。

※上記時間以外で救急診療のお問い合わせは、病院代表番号にお電話をお願いします。



- 電車をご利用の場合  
JR仙石線・下馬駅下車(駅前が病院です。)
- お車をご利用の場合  
以前に比べて第一駐車場が狭くなりました。ご不便をお掛けしますが、第三駐車場に駐車し、送迎バスをご利用いただけるようご協力お願いいたします。

## 編集後記



1年の無病息災を願う伝統行事。地元塩釜神社には各地から年男・年女が集まります。裃(かみしも)を纏い福升を手に境内に組まれた特設舞台に登壇。手を伸ばす参拝者の前で豆(福)を撒きます。豆まきは「追儺式」とも言うそう。

私が食べる豆の数は今年大台まで到達。ふくぎん(腹筋)周辺から「きついな」と聞こえてきそう。(K)

公益財団法人 宮城厚生協会

## 坂総合病院

〒985-8506 宮城県塩釜市錦町16-5

電話 022-365-5175 (代表)

FAX 022-365-3620

http://www.m-kousei.com/saka/

